

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもさぼーとるむ楽喜		
○保護者評価実施期間	令和8年3月15日		～ 令和8年3月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和8年4月15日		～ 令和8年4月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年5月15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・毎日の活動・運動メニューを固定化にならないよう職員ミーティングで決め、児童はもちろん職員も一緒に入り児童と一緒に身体を動かしている。	・職員ミーティングにて本日の運動メニューを決め、1日1日違う職員がメイン・サブを決め運動を回し、他の職員は児童と共に一緒に身体を動かし、競い合い・助け合いながら児童1人1人が他児や職員と運動通してコミュニケーションの向上を図りながら運動療育を行っている。	・放デイの学年も上がってきたことから、今までは難しい運動メニューに今後は取り入れることでより運動能力の向上や難しいメニューで児童同士の助け合い、難しいメニューをこなす達成する事により自己肯定感の向上を図る。
2	・楽しく通所出来るように日々の運動はもちろん、土曜日の活動を四季に合わせた活動や遠出や見学等、職員が計画を立案しています。児童同士で話し合いをもたせ、児童の希望する活動を取り入れたりしています。	・職員同士でのミーティングや児童からの希望等を踏まえた上で児童内での流行り等を平日には行けない場所や活動を実施・体験出来るようにしています。また、活動場所を事前に視察し危険な場所を把握・共有し安全に過ごせるよう行っている。	・家族ではなかなか行けない場所・児童が行ったことのない場所を聞き取り、立案し実施。より児童に寄り添いなるべく希望を望んだ活動が実施出来るようにしたい。
3	・日頃から児童を学校に迎えに行く際にどのような様子であったが事業所での様子を保護者様に引き継ぎ、家庭での様子等の聞き取り等を行い把握・職員間での共有をしている。	・モニタリング・担当者会議はもちろんではあるが、送迎時での児童の様子・変化などを引き継ぎで伝えるようにしている。引き継ぎが難しい場合は電話など使用し連絡を取り伝えている。	・引き続き送迎時での様子や変化の引き継ぎを行うと共に児童がコミュニケーションを取りやすい環境等での児童からの声を聞き保護者様に伝えられるようにしたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域と他の交流の機会が少ない。	・どのような活動が地域交流と位置付けられているのかが職員の間で理解が不十分である。	・地域のお便りやSNSなどを通して職員間で地域活動の認識深めたい。
2	・親子での参加型活動を開催はしているが保護者会や意見交換会を設ける機会ができていない。	・決まった時間の確保が難しく実施に至っていない。	・保護者様へニーズやご意見など取り入れていき、ニーズに合わせて開催できるよう努めていきたい。
3	・非常時の対応やマニュアルが保護者様に周知できていない。	・各対応マニュアルの周知ができていない。	・お便りやSNS等を用いて周知していきたい。